

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第359号



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2016年11月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

第15回 高校体育祭開催



準備体操



大玉ころがし (後援会チーム)



色別対抗リレー

第15回 高校体育祭開催

最後の体育祭

体育祭実行委員長 3年9組 松浦 悠大

私にとって今回の体育祭は、中等部の時から合わせ、6回目の体育祭となりました。高校体育祭は3回目です。体育祭実行委員長として臨みました。これまでの体育祭とは違い、皆の前で「委員長のことば」を言ったり、体育祭の進行をしたりしました。これまで大勢の前で話す機会は少なく、緊張しうまく話せませんでした。良い経験になったと思います。

また、今回の体育祭では昨年まで体育祭実行委員がやっていた仕事を、サッカー部をはじめ、女子バレーボール部や女子バスケットボール部がやってくれたので、とても感謝しています。その分、私はクラスの応援をしたり、クラスみんなに「もうすぐ次の競技の招集がかかるよ」などの声掛けをして、体育祭がスムーズに進行するように心がけました。

体育祭実行委員長として挑んだ今年は、6年間で一番充実した体育祭となりました。



開会宣言



体育祭実行委員長挨拶



選手宣誓

玉入れ



ムカデ競走



障害物競走



台風の目



肩組競走



借り物競走



部活動対抗リレー



華のステージ



棒引き



色別対抗リレー (女子)

色別対抗リレー (男子)



大玉ころがし(教員チーム)

ローハイド



大玉おくり

表彰式



結果 色別対抗	優勝	オレンジ組
	準優勝	青組
	第3位	緑組

学年だより 中1

☆前期を振り返って、後期頑張りたいこと☆

前期も終わり、いよいよ後期が始まりました。4月に中等部に入学し、さまざまな環境の変化に戸惑いながらも、一生懸命部活動や勉強などを頑張ってきました。今回は前期を振り返って、後期頑張りたいことについて書いてもらいました。

自分自身が変わったこと

A組 内田 七彩

私は女子バスケットボール部に入っていますが、部活動で自分自身が変わったことがあります。まず一つ目は体力です。インターバルや周走、走り込みを毎日積み重ねて体力が付き、前より足が速くなりました。二つ目は、シュートです。朝練を頑張ったり、先輩に教えてもらったりと練習をたくさんしていくうちに上達していききました。このことから、何事もあきらめずに毎日毎日練習していけば上達することがわかりました。後期も引き続きしっかり練習して、少しでも上手になりたいです。

先輩のようになりたい

A組 宇野 樹

僕が後期の目標にするのは、部活動の先輩からの引き継ぎです。僕は吹奏楽部なので楽器ごとに引き継ぎをするので、これを目標にしました。僕はチューバをやっているのですが、先輩は3年生なので、来年は先輩がいなくなってしまう。そのため、来年は教えられる側から教える側にならなければなりません。今のうちにしっかり先輩に聞いて、来年の1年生に教えられるようにしたいです。先輩の素晴らしいところ、上手なところを盗むくらいの気持ちで頑張っていきたいと思っています。

目指せ 都大会!

B組 栗田 優紀

私は、ソフトテニス部に入っています。前期はコツをつかめず、ボールをラケットに当てることはできるものの、打ちたい方向に打つことができませんでした。夏休みに入り、だんだんときれいに打てるようになりました。夏休み後に試合があったため、強く、そして正確に、早く打つ練習をコツコツしました。まだまだ、試合などもあるのでコツコツ練習を積み重ねて、都大会に出ます。

チームの勝利に貢献したい

B組 日比野 祐大

僕は後期の部活動の目標を立てました。僕は中等部のサッカー部に所属しています。僕のポジションはGK(ゴールキーパー)です。でも、あまり上手ではありません。1年生で入ったばかりというのもあって、チームとの連携がうまくできなくて、4月からあまり勝つことができていません。これからはさらに練習に集中して、もっと上手になってチームの勝利に貢献したいです。

☆「はたらく消防の写生会」表彰式☆

「飛躍」10月号でご紹介しました通り、6名の生徒が「はたらく消防の写生会」において入賞いたしました。

10月4日、本校校長室にて東京消防庁高輪消防署二本榎出張所長 金田誠一様から表彰していただきました。

生徒たちは終始緊張した面持ちで、表彰状を受け取っていました。

今後もさまざまな場面で活躍してくれると期待しています。



学年だより 中2

入学してから

中等部2学年は早いもので中等部生活の半分を終えました。振り返るとさまざまなことがありました。

楽しかったこと、つらかったこと、できなかったことができるようになったことなどいろいろあることでしょう。そして何よりみんな大きくなりましたね。最近会うたびに大きくなっているような感じがします。皆さんから相談される内容も少しずつ成長がみられます。

あと半分の中等部生活で、たくさんのごことに挑戦してさらに大きく成長してほしいと強く思っています。

1年半を振り返って

A組 島袋 樹梨南

私は中等部の生活を振り返ると、反省が数え切れないほどあります。学習面、生活面それぞれの自分の課題を挙げていきたいと思っています。学習面では自分の欲求に負けて、きちんと授業に向き合えないことがありました。生活面では、制服の着方がだらしなかったりして注意を受けることがありました。部活動でも忘れ物やあいさつについて、注意を受けることが何度もありました。これからはすべてのことに対して態度を改め、注意をされないようにしていきたいです。学習では今までよりも良い成績がとれるように、部活動では先輩として後輩のお手本となることを目指していきたいです。

頑張ります

B組 金子 雄大

この学校に入学してから1年半が経ちました。その中で楽しかったこと、注意を受けたことがたくさんありました。体育祭や剛健旅行は、友達と協力してできたことが良い思い出として残っています。しかし、毎日提出するスクールライフの字が雑と注意されてしまったり、けじめがつけられなかったり、注意をされたこともたくさんありました。残りの半分の中等部生活では、少しずつ行動を改めていきたいと思っています。学習面でもなるべく平均点以上とれるよう、部活動ではサッカーの試合で惨敗するのではなく、相手校と良い勝負ができるよう、生活面ではなるべく欠席をしないように頑張っていきたいと思っています。

振り返り

A組 三嶋 健詩

中学校生活の半分が終わりました。今から3年生になる自覚を持ちながら、残りの2年生の半年を過ごしたいと思っています。これまでの反省は落ち着きがなく、集中力にムラがあり、集中できないこともありました。なるべく多くの時間集中できるように心がけていきたいです。あと、僕は外部で野球をやっています。そこでも頑張っていきたいと思っています。後期のスポーツ大会でも1位をとれるように頑張りたいです。残りの学校生活は体調管理をしっかりし、今年と来年は皆勤賞を目指したいと思っています。今までいくつかのトラブルで注意を受けたこともありましたが、これからは思いやりの気持ちを持って行動していきたいと思っています。

これまでを振り返って

B組 田中 良昌

これまでを振り返ると本当にいろいろなことがありました。入学したころとは親しい友達も苦手な教科も変わったように思います。3つのことについて書きたいと思います。1つ目は運動面でみんなについていけずに体育祭やスポーツ大会で迷惑をかけてしまったことです。少しずつ頑張っていきたいと思っています。2つ目は忘れ物が多いのできちんと提出物が出せるように心がけたいです。3つ目はスクールライフで日付や目標をしっかりと書いて丁寧な字で書いていきたいです。いろいろなことを頑張ってこれからの学校生活を楽しくしていきたいです。



2-A



2-B

学年だより 中3

高校部活動

本校の中等部3年生は部活動引退後、高校の部活動に参加することができます。公立の中学校に通う中学生では決して体験できない貴重な時間を、本校生徒は過ごすことができるわけです。現在、高校部活動で頑張っている中等部生徒たちの声をお届けします。

ESSを体験してみて

A組 木島 碧己

中等部の部活動を引退し、高校の部活動を何にするか悩んでいた時に、友人の誘いで僕はESS同好会の体験に行くことにしました。そこでは高校生とネイティブの先生が、楽しそうに英語で会話をしていました。僕はそのやり取りを見て「僕にもできるかな」と不安になっていましたが、高校生があまりにも楽しそうだったので、少しずつ緊張感が解けていきました。このように英語を話すことが苦手でも、楽しく会話をすることができる感じの部活動だと思います。

新たなステージへ

A組 小川 真悟

僕は夏休みにバレー部の入部体験に行きました。正直、最初は高校の部活動に行くのは怖いという気持ちがありました。ですがバレー部のマネージャーが、僕の中等部での部活動の先輩だったので、優しく誘ってもらい行きやすくなりました。実際に参加してみると、先輩方がみんな優しく接してくださって、とても良い部活動だと思います。中学の部活動と違うところは、雰囲気です。気迫があって、僕が今後そのような雰囲気にならなければならないのが少し心配です。

レベルの差

A組 堀野 紗世

高校のバスケット部の体験に行くと、中等部の時とのレベルの差を感じました。高校でもバスケットを続けることは甘いことではないと痛感させられました。一番つらかったのは、走るメニューです。引退をして体力がなくなっていたので、ついていけないことがたくさんありました。そういう時に先輩たちがたくさん声をかけてくれてうれしかったです。中等部と高校の部活動は、雰囲気も練習も全く違うので、体験に行くと知ることは大事だと思います。

高校生と中学生の違い

B組 三須 恵美香

女子バスケットボール部の体験に行っています。まず、先輩方の部活動に対する姿勢がすごいなと思いました。中等部の時と比べて、練習や試合に対する真剣さがより一層伝わってきます。練習だけでなく、筋トレや食トレなどの体づくりのためのメニューも加わりました。中等部の頃同じ部活動だった先輩もいらっしやるので、前向きに考えることができました。私が高校に入ったら、先輩方のようにかっこいい先輩になりたいです。

もっと技術を高めたい

B組 香山 夏丸

男子バスケットボール部で同じだった先輩に誘われて、夏休みに男子バレーボール部の部活動体験に行きました。先輩は練習をとて楽しそうにやっていました。また、私はバレーボールは授業以外では一度もやったことがなく、わからないことだらけだったので、先輩方が優しく教えてくださったので、とてもわかりやすかったです。また練習に参加して、技術を高めたいです。

意識を変えることができました

B組 眞鍋 泰河

私はまだ中等部生ですが、中等部のソフトテニス部を引退し、高校のソフトテニス部の練習に参加しています。これは中高一貫だからこそできることだと思います。高校の練習には入部する前から少し参加させてもらっていましたが、本入部してからは練習の前に早めに行くと自主練するようになったり、自分の気持ちが変わった気がします。中等部のうちから高校の部活動に参加して、意識も変えることができました。

学年だより 高1

キャリアデザインの秋 ～学年集会、企業訪問ポスター発表～

10月6日、2・3年次の科目選択についての学年集会が行われました。進路指導主任の高橋先生から、大学進学に必要な知識・技能や選択科目の履修についての説明がありました。

6組 木村 友香

私は、理系・文系の選択によって大学の学部・学科そして将来が決まってしまうのかなと思いました。また、理系では同じ学部でも学科によって生物が必要だったり物理が必須であったりなどの違いがあることに驚きました。自分の将来のことをちゃんと考えて、今から自分の希望する学部・学科に行けるように勉強をしっかりすることが大切だと思います。私は理系に進もうと考えていますが、学科についてはまだよくわからないので、説明会などに積極的に参加し、理解した上で進路を決めていきたいと思っています。

1組 池田 遊

文系・理系の選択は自分の将来を大きく左右することだと、親や部活動の先輩、先生方から聞いていました。今回の学年集会では、その選択をする上で「してはいけないこと」を学びました。それは、〇〇の教科が苦手だからとか仲の良い友達が〇系に行くからというように、深く考えずに軽い気持ちで選択してしまうことです。進路を考えるにあたっては、まず東海大学についてよく知り、そして自分のやりたい職業に就くために、最善の進路を選ぶ努力をすることが大切だと思います。

夏期休暇中の宿題として、1年生は職業レポートを作成しました。ほとんどの生徒が大学へ進学する本校生徒にとっては、就職なんてまだまだ先のことと思うかもしれませんが、社会人生活は40年間も続きます。今のうちからしっかり考えておきましょう。

高輪台1年生に人気の職業ベスト5 (職業レポートで取り上げられた件数に基づく)

- 第1位 教員 42pt. (身近な職業ナンバー1!? 小・中・高・特別支援の合計人数です)
- 第2位 建築士 24pt. (今年の3年生も20名以上が建築学科に進学する予定です)
- 第3位 警察官 19pt. (市民を守る正義の味方! 高輪台の卒業生もたくさんいます)
- 第4位 スポーツトレーナー 17pt. (インストラクターやリハビリトレーナーなども加えると警察官を抜いて第3位に)
- 第5位 看護師 16pt. (女子生徒に人気の国家資格。知識や技術だけでなく、体力・気力も必要です)

5年前、ニューヨーク市立大学大学院センターのキャシー・デビッドソン教授が「子どもたちの65パーセントは将来、今は存在していない職業に就く」と発言し、大きな反響を呼びました。オックスフォード大学のAI(人工知能)研究者、マイケル・A・オズボーン准教授による調査では「あと10～20年でなくなる職業」が具体的に(「スポーツの審判」など)挙げられています。皆さんが大学を卒業する2023年、どんな仕事があなを待っているのでしょうか……?

SSHクラスは「企業訪問」を行いました

SSHクラスでは、高校現代文明論での学びを深化させるとともに、研究者・技術者としてのキャリア形成を図ることを目的に、官公庁や事業所などを訪問しました。訪問先で得た知見はポスターにまとめ、建学祭とSSH成果報告会で発表しました。

10組 田村 悠人

私たち知的財産班は日本ジェネリック株式会社つくば研究所を訪問して、ジェネリック医薬品について学んできました。まず医薬品の開発についての説明があり、次に医薬品における知的財産権についてのお話を聞き、最後にラボツアーという流れでした。最初は「企業訪問」という言葉の響きに堅苦しさを感じていたのですが、所内の方々全員が温かく私たちを迎え入れてくださり、最先端で研究をしている方々がこまめに親切にしてくださいました。ポスター発表では、感謝の意を込めて最高の発表をしたつもりなので、少しは恩返しできたかなと思っています。



その他の訪問先(順不同): 日本航空(株)、サイバーダイナミクス(株)、ナカ工業(株)、東京都下水道局、(株)ピクセン、(有)日本クレセント、(公財)鉄道弘済会、日本ベルパーツ(株)

朝読書、何を読んでいますか?【第6回】 桑田 幸陽 くん(学年副委員長・2組級長)

今期、学年副委員長になりました桑田です。よろしくお願ひします。ところで、皆さんは僕たちが大人になった時の環境問題に危機感を感じませんか。

★ 石田秀輝/古川柳蔵/電通グランドデザイン・ラボラトリー 著
『キミが大人になる頃に。環境も人も豊かにする暮らしのかたち』(日刊工業新聞社)

今夏も異常に暑かった。東京の最高気温37度、平均気温33度。平均気温は毎年上昇している。そんなうだるような暑さのなか毎夜読んだのが本書でした。現在、世界は大量生産・消費社会で、物を得て満足しては廃棄の繰り返しです。そんなライフスタイルを見直さなくてはいけないのが現実です。そこで2030年の地球環境を予想し、厳しい環境制約のなか、心豊かに暮らしていくにはどうすればいいか、ライフスタイルを制限するのではなく、消費欲から精神欲へ転換できるかということについて、わかりやすく示した本です。

2030年、僕たちは30歳。未来を担う者の一人として、環境問題について積極的に関心を持ちたいですね。

(次号は、いつも保健室でお世話になっている養護教諭・黒沼先生のお薦め図書を紹介します)

野球部での練習風景

学年だより 高2

研修旅行 ③

最終回は沖縄コースです。美しい自然を体験し、平和への思いを深くした6日間でした。

2組 右手 由紀

東京から飛行機で約2時間、南国の島、沖縄。飛行機から出た瞬間感じた南国感。密度の濃い6日間の始まり。
 前半は平和学習。沖縄は第二次世界大戦の激しい戦場地。多くの犠牲者を出し、今でも各地に多くの爪痕が残る土地。ひめゆりの塔、旧海軍司令部壕、平和の礎など戦争の惨さ、悲慘さが今に伝わる場所を回り、平和の大切さ、平和な毎日をごさせていることのありがたさを体感した。
 後半は、待ちに待ったマリンスポーツ、海洋博公園など、楽しみにしていた活動。照り付ける太陽。夏の東京のコンクリートのように暖められた砂浜。涼しさを求め日陰に逃げ続けた海の日。途中から滝のような雨が刺さるように降り続けた、カヌー体験。辺り一帯に広がっている、透き通った青い海を眺め、写真を撮り続けた万座。班員はもちろん、班員以外の人とも仲を深められた。たくさん思い出ができただけでなく、沖縄の文化、広大な自然をたくさん感じ、学ぶことができた。
 6日間の研修旅行を通し、友達と思い出を作り、仲を深められただけでなく、数多くの文化や歴史など身をもって感じ、多くのことを学ぶことができた。この経験をこれからに生かしていきたい。

6組 石井 響

雲一つない真っ青な空に、じりじりと肌を刺すような強い日差しの中、私は空と同じくらい青い海を目の前に、真っ白な砂浜の上に立っていました。今までにないくらいきれいな海に足を踏み入れるのは、少しためらいがありました。ためらいながらも一歩ずつゆっくと進んでいくと、波打ち際で波が運んでくる、貝や珊瑚のかけらが、おもちゃのブロックを踏んだ時の痛みと同じくらい痛かったことを、今でも足の感覚で覚えています。
 ビーチの遊泳区域よりさらに深みがかった水面で、初めてのダイビング体験。これからこの水面下に潜るのかと思うと、不安が募りました。締め付けられる感覚のウエットスーツに、腰にはずしんと重くのしかかる重り。足には自分のよりもはるかに大きな、アヒルの足のようなフィン。背中に十数キロの機材を背負って、ついには自分の番が来て、不安を胸に足からゆっくと深みがかった青の中へと潜っていきました。
 目を大きく見開くと、そこには想像よりもはるかに遠い青の世界が広がっていました。まるで小さくて色とりどりの魚たちを閉じ込めた水槽のようでした。海の底には大きなシャコ貝やイソギンチャク。イソギンチャクの間を控えめにのぞくと見える、カクレマンノミ。海の底は絵や本で描かれるマーメイドの世界のようで、その光景は心の奥底までしみわたりました。
 そんな幻のような素敵な経験を通して、私の沖縄の海での一日は、充実した一日となりました。



海の底まで行ってみた



平和を祈る



青い海と青い空



平和祈念資料館にて

学年だより 高3

3年後期、このように過ごします

高3の後期、そう、文字通り、最後の学期が始まって1カ月が経過しました。
 生徒諸君の多くが卒業後の進路先を確定しつつあるなかで、この後期は、東海大学のスケールメリットを生かして、希望に応じ、今までとは少々異なる高校生活を送ることができます。今回は、新たな挑戦をする人たちを紹介します。後輩諸君にも役立つ情報です。

【体験留学】(2016年秋学期)

4組 鈴木 彩花

〔情報通信学部
経営システム工学科〕

私が体験留学を希望する理由は、早い段階から大学での講義を経験し、大学に向けて備えることができるからです。このプログラムに参加するには、高校と大学の授業内容を同時進行させなければならぬため、どちらにも気を抜くことなく、強い気持ちで両立していきたいと考えています。自分にとって、勉強面、精神面ともに成長できるよう、全力で取り組んでいきたいと思っています。

9組 安田 明路

〔情報通信学部
情報メディア学科〕

私が体験留学を希望した理由は、残り少ない高校3年生の時期に、いかに充実した日々を送れるかを考えたからです。この体験留学プログラムに参加して、大学の授業を受けることで、早期から大学生活への準備に取り組むことができると思いました。高校在学中に大学の学習ができる貴重な機会ですので、多くの授業を履修して、自分を高めようと考えています。

【ハワイ中期留学(SHIP)】(2017年1月4日～2月25日)

3組 荒井 真尋

私がハワイ中期留学を希望した理由は、将来、英語を使う仕事に就きたいと思っているので、少しでも夢へ近づけるようにするためです。
 留学中は、積極的に授業へ参加して、英語力を高めていけるようにしたいと思います。ハワイを楽しみながら、充実した留学生活を送りたいです。

5組 高橋 彩嘉

私がこのプログラムを希望した理由は、来春HTICに進学する予定だからです。英語力向上はもちろんのこと、ハワイという環境にも慣れることができるからです。さらに、ハワイ滞在は日本にいるよりも実践の場が多くなるので、より早く英語が身につくと考えています。そのため、SHIP期間中は積極的に行動していきたいです。

【カナダ中期留学】(2016年12月16日～2017年2月26日)

7組 村田 元

英語の勉強を始めて6年。私はこの6年間で、一度も海外に行ったことがありません。私が今まで学んできた英語は、海外で通用するのかわかっています。今回の留学で確かめてみたいです。そのために、3年後期は英語学習に重点を置きたいです。3年で習った英語だけでなく、中学生の時から習ってきた英語のすべてを復習した上で、カナダ中期留学に挑戦したいと考えています。

8組 高橋 和秀

時代の変化とともに、日常生活の中でも英語を身近に感じられるようになり、これからの社会では、英語力が必要だと痛感しました。私たち付属生は、後期の時間を有効に使えるため、私はその与えられた時間を有意義に過ごすためにカナダへ行き、現地の高校生やホストファミリーと英語で会話することによって、自分自身の将来の糧にしたいと思います。

2016年度学校運営方針

これまで、3回にわたって2016年度の学校運営方針重点目標について紹介してまいりました。今月からは、目標達成に向けての本校の取り組みを紹介していきます。

本校の取り組み PART.1

基本的な生活習慣を身につけさせる

集会時の歌唱指導、話を聞く姿勢を徹底させる

道徳教育を推進する

学業不振生徒への学習支援ならびに生活習慣の改善と意欲・体力の向上をはかる

退学者を0に近づけ、「いじめ」のない学校造りを推進する

地元で愛される学校造り

本校の重点目標の一つに「学習と部活動の両立」があります。教科の学習や部活動をはじめとする教科外活動を実りあるものにするには、まず人として基本的なことをきちんと身につけていなければなりません。ここにあげたのはどれもそのための取り組みです。

授業に集中したり、部活動の練習に打ち込んだりするには、規則正しい生活をおくり、心身を健康に保てる人にならなければなりません。生活習慣の乱れは、学業不振や学校生活不適応の引き金にもなります。学業不振生徒には学習面の支援だけでなく、生活全般にわたるサポートが必要だと考えています。

また、道徳心も人としての基本です。道徳を外部から要求されるルールとしか考えない人は、注意する者がいない時や、集団にまぎれた時に平気で規範を逸脱します。道徳を内面化し自律的に行動できる人を育てるために、きちんとした集会が行える学校、「いじめ」のない学校、地元で愛される学校造りに取り組みます。

SSH活動報告

英語での交流

SSHでは、英語で交流するプログラムがいくつかあります。今回は、夏休みと9月に行われたプログラムに参加した生徒に感想を書いてもらいました。7月24日から8月1日まで中国の北京で行われた「立命館北京研修」に、植木君と村林君が参加しました。8月10日から13日まで静岡で行われた「SKYSEF」に小林君と高君が参加しました。また、9月27日にSkypeでロシアのガスプロム校との交流を塚本君、大箭君、仲野君、林さんが行いました。不安な面もありましたが、頑張って交流しようとする姿が見られました。

北京での体験

3年10組 植木 誠晴

私は、課題研究の成果をポスターで発表するために北京での国際発表会へ参加しました。北京へ行く前は、どんな人と交流するのか、何をするのか、どんな場所なのか、という不安と緊張が入り交じった気持ちでした。しかし、北京の空港に着くと現地の学生さんたちが温かく出迎えてくださり、安心しました。発表会の前には、オリエンテーションとしてさまざまな国のの人々と一緒に、中国の文化や大学の授業を体験し、仲を深めていきました。ポスター発表は、さまざまな国の人に対して行ったので、英語でのやり取りに苦労しました。多くの人と交流できて楽しかった反面、自分の英会話力の未熟さを知ることができた旅行になりました。今は、12月の台湾で行われる発表会に向け、台湾の人と共同研究を行っています。研究成果を出し、英会話力を上げるために英語を勉強していきたいと思います。



北京航空航天大学実験学校中学部の生徒との交流

SKYSEFを通して

3年10組 小林 俊

私は、SKYSEFへ行くことになった時、英語があまり得意でなかったため最初は少し不安がありました。しかし、実際に参加してみると、思ったよりも会話をすることができたので、楽しいと感じるようになりました。SKYSEFは全てのプログラムが英語であったため、発表も英語という形でした。質問が特に大変で、聞き取ることが精いっぱいであった私は、もっと英語を勉強しなければならぬと実感しました。

全4日間あった行程のうち、最初の2日間はエネルギー、生物多様性、環境などを主題としてポスターセッション及び口頭発表が行われました。残り2日間は20グループに分かれて国際共同プロジェクトが行われ、テーマはおもむきでミニ四駆を使い、いかに小さい環境負荷で運べるかというものでした。ミニ四駆の作成や議論も全て英語であったため大変でしたが、いろいろな国の人としゃべる機会はめったにないので、とても良い経験になりました。今後この経験をどこかで生かせればよいなと思いました。



海外の生徒とのディスカッション

英語のレベル

3年10組 塚本 光一郎

私は生物多様性というテーマのもと、外来種の現状と対策についての発表を行いました。英語であることや画面越しという慣れない環境での発表だったので、初めは緊張しましたが、いざ始まると視線をあまり感じないため、比較的落ち着いて練習通りの発表ができました。英語があまり得意ではない私は、なんとか聞き取ろうと必死になっていたのに対し、ガスプロム高校の方々は発表や質疑応答がとてもスムーズで、英語のレベルの高さを思い知りました。今後、英語で発表する機会は増えていくと思うので、ガスプロム高校の方々を見習い、私もより良い発表ができるようになりたいと思いました。

日程が決まったのがギリギリで練習時間があまり取れなかったことや、ロシアと日本の時差が変わっていたことを把握できていなかったため、1時間も待つことになるというハプニングもありましたが、とても良い経験になりました。



Skypeを使って研究発表

お知らせ

ベストティーチャー・タイプA候補決まる

5月19日、9月8日に「生徒による授業評価アンケート」を実施しました。その結果、今年度のベストティーチャー・タイプA候補として9名の先生方が決まりました。保護者の皆様には、11月17日(木)、18日(金)の「一斉公開授業」をはじめ、11月25日(金)までにご都合の良い日にご来校の上、9名の先生方の授業をご覧ください、「保護者による授業評価アンケート」にご協力をお願いします。

【2016年度ベストティーチャー・タイプA候補一覧】(教科順)

	教員名	教科
中等部	近藤 祐輔	社会科
	久米 あずさ	理科
	古田 奈穂	技術家庭科
高等学校	吉澤 俊介	国語科
	日塔 瑞乃	国語科
	益田 康誠	国語科
	高橋 光太	数学科
	今井 貴志	地理・歴史科
	宮脇 孝一	地理・歴史科

※付記

以下の過去3年間にベストティーチャー・タイプA受賞者は、規定により選考の対象から外れています。

2013年度：日塔 瑞乃(中等部)・小松原 洋行

2014年度：上松 未来・宇津 浩・中島 仁美

2015年度：尾崎 絵里香・吉川 博人

※授業実施時間割は、学級担任または学校までお問い合わせください。「一斉公開授業」の時間割は、前日に生徒を通じて配布いたします。

行事予定

November 11月

December 12月

- 1日(火) 建学74周年記念日(休業日)
- 2日(水) 創立72周年記念式典[正制服着用] 45分短縮授業
- 3日(木) **文化の日**
- 6日(日) 英検(2次:中等部)
- 8日(火) 校医相談日⑦
- 10日(木) 学園高大連携総合試験(高3)
基礎力判定テスト①(高1、高2)
外部実力試験(中等部)
- 13日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会④(高校)
- 16日(水) 専門医によるカウンセリング④
- 17日(木) 一斉公開授業②(~18日)
中等部合唱祭(1・2時限)
- 19日(土) スポーツ大会(アリーナ・高3) 水泳実習(中等部)
- 20日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会④(中等部)
- 23日(水) **勤労感謝の日**
- 24日(木) 生徒による授業評価アンケート③
- 26日(土) 後援会委員総会
- 29日(火) 後期中間試験(高1、高2:~12月2日、中等部:~11月30日)
卒業試験(高3:~12月2日)

- 1日(木) 後期中間試験(高1、高2:~2日)
卒業試験(高3:~2日)
スポーツ大会(AM)・キャリア教育(PM)(中等部)
- 2日(金) 校外活動(中等部)
- 3日(土) 生徒自宅学習日(高3)
保護者会(中3)
- 4日(日) 受験生・保護者対象学校説明会⑤(高校)
- 5日(月) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
答案返却(高3)
- 6日(火) 特別講座(高3:~1月31日)
- 10日(土) 三者面談開始(中等部)
後援会湘南校舎見学研修会
高輪会役員会
- 13日(火) 校医相談日⑧
マナー講座(高3)
- 15日(木) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 23日(金) **天皇誕生日**
- 24日(土) 冬期休暇前諸注意・大掃除(3・4時限)
- 26日(月) 冬期講習(~28日)

高校体育祭(写真部撮影)



編集後記

ノーベル生理学・医学賞がスウェーデンで発表され大隅良典教授に贈られることとなった。日本人のノーベル賞受賞は3年連続で、25人目となる。受賞理由は「オートファジー(自食作用)の仕組みの解明」。少年時代の夢であるノーベル賞を受賞した大隅教授は、「私のような基礎的な研究者も運が良ければそういう機会に恵まれると、若い人が知ってくれる機会になってくれるとうれしい」と話す。この論文が発表されたのは1990年代、長きにわたり研究を続けてきた成果のようだ。地道にこつこつと積み上げることの大切さを改めて学んだ。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>